

SG基準制定 「避難所用間仕切りテント」のお知らせ



「避難所用間仕切りテント」のSG基準が2022年12月に制定されました。
ボークンは、委託検査機関として受付しております。

避難所用間仕切りテントとは

災害時に避難所等の屋内でプライベート空間を確保するため、簡単に組み立てることができ、使用後はコンパクトに収納できる間仕切り(パーティション)、テントが適用範囲

家族単位で使用されることが想定されているので、乳幼児も含めて2~5名程度が就寝できる大きさ、あるいは車いすを利用されている方が使用できるようなことも考慮して基準化されています。

W型(ワイヤータイプ)例



略称	呼称	内容
W型	ワイヤータイプ	リング状のスチールベルトなどのワイヤーによってテントを支えている構造のもの (幕体も一体式のものが多い)

P型(ポールタイプ)例



略称	呼称	内容
P型	ポールタイプ	樹脂製などの組み立て式のポールによってテントを支えている構造のもの(幕体は別物が多い)

制定の経緯

地球温暖化の影響によることも一因ではありますが、台風、大雨、地震などが毎年発生し、被害の頻度増や対象範囲拡大が起きており、避難指示が出された際などに、避難所用に備蓄しておくものがようになってきています。内閣府「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針(平成25年8月)」というガイドラインがありますが、これまでのテントには安価な製品も見受けられ、強度がない・生地が透けてしまう等の品質問題が発生していました。

そこで、複数の事業者様より、客観的な安全評価指標が欲しいとの要請を受け、学識経験者や消費団体等の意見も取り入れて、基準制定化の運びとなりました。

※一般財団法人製品安全協会HPより引用

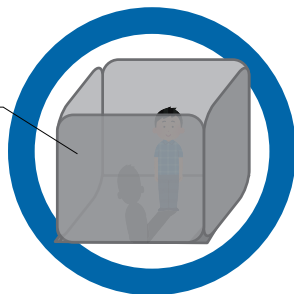
安全性品質項目

- 1 外観及び構造
- 2 強度
- 3 設営耐久性
- 4 材質

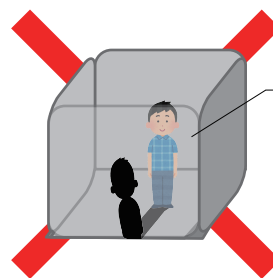


車いす、乳幼児等においても皆が平等に使用できる
プライベート空間に対して重視してる項目になってます！

中の様子が分かりにくい



中の様子が分かりやすい



表示及び取扱説明書

- 1 表示
- 2 取扱説明書

SG基準の内容は閲覧できませんので、詳細技術情報を希望される場合は、製品安全協会様へご確認ください。



製品安全協会 CPSCA (sg-mark.org)



同意書 / Written Consent

ボーケンでは、「避難所用間仕切りテント」を含め、57品目が対応可能となりました！！

ボーケン は、製品安全協会の委託検査機関として各種アイテムの安全性確認をはじめ、SG基準作成にも参画しています！
消費者が日常使用する一般消費財の欠陥による事故を未然に防ぐこと、安全で安心して使用できる製品を提供出来るよう努めています。



上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

生活産業資材事業本部

☎ 03-5669-1382

■東京生活用品試験センター
〒135-0001 東京都江東区毛利1丁目12番1号

☎ 06-6577-0124

■大阪生活用品試験センター
〒552-0021 大阪府大阪市港区築港1丁目6番24号